



学校長だより

No. 10 (平成 29 年 2 月 27 日)



梅一輪 一輪ほどの あたたかさ

日中はずいぶん温かく、日差しもやわらかくなり、ここ春野町の地名にふさわしい季節がもうすぐそこまできている感じがします。実習園の梅も咲き誇り、桜の出番を催促しているかのようです。待ち遠しい本格的な春ではありますが、この季節は別れの季節でもあり、本校分校では卒業式の練習が行われています。体育館から聞こえてくる式歌のピアノと歌声に、卒業生の巣立ちの日が近いことをひしひしと感じています。卒業式で歌われる「旅立ちの日に」の中で繰り返されるフレーズ「♪今 別れの時 飛び立とう 未来信じて はずむ 若い力 信じて この広い この広い 大空に♪」は、送り手として胸が熱くなり、感極まってしまいますが、卒業生の晴れの姿へのはなむけの式として、精一杯の歌声で締めくりたいと思います。高等部卒業生そして保護者の皆さん、卒業までカウントダウンとなり、学校生活が本当に残りわずかとなりました。一日一日を大切に、そして楽しく、思い出のアルバムを1ページでも増やしてほしい、そんな気持ちでいっぱいです。これまで学校にお寄せくださったたくさんのご協力、ご支援、本当にありがとうございました。

とにかくこの世は住みにくい！

感染症に注意する季節が峠を越したかと思いきや、依然として、インフルエンザは終息しておらず、A型に続きB型に感染する人も出てきているようです。あともう少しの辛抱が必要ですが、植物が目覚ましはじめ、結局マスクが手放せないことになっています。この時期人々を悩ます花粉ですが、花粉症とは生涯無縁だと決めつけていた自分も、先日来から激しい目の痒みに襲われ、とうとう医師から宣告を受けました。医師曰く、食生活が大切で、ヨーグルト、納豆などの発酵食品、しょうがなどの代謝活性化食材、粘膜強化のコラーゲン食材が予防によいとのこと。なる前に教えてほしかった！

思わぬうれしいプレゼント！

2月は思わぬ形で2度のうれしいことがありました。一つ目は9日に西武ライオンズのプロ野球選手が来校してくださり、目の前で剛速球を披露してくれました。プロ選手の投げる球がシュッと風を切る音、ボールをミットで受けた時のパーンという乾いた音の響きに、皆から「おー」という歓声があがりました。他にもじゃんけん大会やインタビューなど楽しいひと時を過ごしました。二つ目は21日に東津野赤十字奉仕団から、天狗高原の雪のプレゼントがあり、みんなで雪合戦やそり滑りを楽しみました。これらの様子は新聞・テレビでも報道されました。きっと、若草の子どもたちの日ごろの頑張りに神様がご褒美をくださったのでしょう。

次年度に向け、さらにいい学校を作るために！

学校教育の指針となる学習指導要領は10年に一度改訂が行われます。現在改訂に向けた作業が進められており、小学部は平成32年度から、中学部は平成33年度から全面実施、高等部は平成34年度から年次進行で新しい学習指導要領に基づき教育が行われることになります。平成29年度からは、新しい学習指導要領についての説明が行われ、平成30年度には改訂の重要な部分は、全面実施を待たず、先行実施となっていきます。昨年末に国は、「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）」を示しました。答申を踏まえ、次年度から学校は全面実施に向け、スムーズに移行できるよう、順次取組を進めていかななくてはなりません。

本校・分校4校では、次年度に向け取組をどう進めていくのか検討を行っています。特に第7号でもお知らせしましたが、「主体的・対話的で深い学び（アクティブラーニング）」の視点からの学習過程の改善について、具体的に進める手立てに今頭を悩ませています。また、文化・芸術・スポーツなどにも力を入れ、2020東京オリパラというでっかい夢を抱きつつ、可能性にチャレンジし、競技などにもどんどんエントリーし、スポーツという点からも、自立と社会参加の力を一層つけていきたいと考えています。今年度はこの便りでも児童生徒の皆さんの頑張りを何度もお知らせしてきましたが、来年度はもっともっと子どもたちの活躍をお知らせできるよう、本・分教職員一丸となっていきたい学校づくりに取り組んでまいりますので、どうかよろしく願いいたします。

